



菅波 茂

5月15日から3日間、RNN（人道援助宗教NGOネットワーク）の10周年記念フォーラムが開かれた。心からお祝いを申し上げたい。

テーマは「現代世界の危機と宗教の役割」。事務局長である黒住宗道氏の司会のもと、2日目のフォーラム本会議で提言する機会を頂いた。

「物の見方や考え方が異なる人たちが共存している社会では、『有難う』の言葉が飛び交っているのではないだろうか。なぜ有り難いのか。英語に訳せないコンセプトが日本文化の真髄である。『おかげさま、おたがいさま、もったいない』などである。AMD Aは『おたがいさま』の相互扶助の精神で人道支援を実施

している。『おかげさま』はご縁の思想で、宗教文化の世界である。ぜひ『おかげさま』を、宗教者として日本から世界へ発信していただきたい」と提言した。

「おかげさま」のように、宗教文化を背景にしている日常語はたくさんある。世界中の国々に宗教が存在する限り、宗教文化に裏付けされた言葉の理解なしに、真の相互理解は困難である。神道、仏教、ヒンズー教、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教など世界には多様な宗教と宗教文化がある。スローガンである「西のジュネーブ、東の岡山」を更に進化・深化させるために、世界から若い宗教者が集う「宗教文化センター」を岡山の地に設立することを提言したい。岡山は、日本が世界に向かって多宗教の寛容さを発揮し提供できる土俵なので

宗教文化センター

ある。

「西のジュネーブ、東の岡山」というスローガンを掲げて、第1回おかやま国際貢献NGOサミットを94年に開催。96年2月に実施した中国雲南省大震災の緊急救援活動に、県内の宗教者が宗派を超えて協力。同11月に開催された第3回サミットの第1回人道援助宗教NGO会議で、RNNの発足が決定した。

以後、AMD Aの緊急人道

援助には必ず支援をして頂き、災害犠牲者に対する「AMD A医療と魂のプログラム」にも参加していただいている。黒住教副教主である黒住宗道氏には、05年12月にスリランカで開催された慰霊祭と、5月27日にあったインドネシア・ジャワ島ジョクジャカルタの地元宗教者との合同慰霊祭に参加して頂いた。

して行う合同慰霊祭に宗教に携わる支援者として参列させて頂き、今日本でもRNNのメンバーが時を合わせて祈り添えていることを伝えます。ジョクジャカルタでは海外の宗教が加わった慰霊祭の前例はないようで、地元副知事をはじめとした列席者各位に「祈る心は一つ」というメッセージもお示しできたのではないかと黒住氏は述べられた。

岡山の精神風土は、医療、教育そして宗教に対して感受性が強い。阪神大震災被災者救援活動に発露した「岡山は弱者が存亡の危機に瀕した時に動く」はまさに至言である。世界から若い宗教者が集う「宗教文化センター」と連動した「祈り行動する宗教者」のネットワーク、RNNの今後に期待したい。

（AMD A代表）